

信州サイエンスフェスタ 2025

日時：8月2日(土) 10:00~16:00

会場：信州大学 理学部 松本キャンパス



参加費**無料**♪
予約不要

Welcome to
SCIENCE
WORLD!



*自然科学館
ツアー

*夏休みの
自由研究相談

特別講演

「サルから探るヒトの心と行動の進化」

信州大学 理学部 生物学コース

山口 飛翔 先生

ブース展示
詳しくは裏面を見てね。



お問い合わせ（実行委員会）

E-mail:shizen-toiawase@shinshu-u.ac.jp

HP:<https://sites.google.com/view/shizen2025>

主催：信州大学理学部
共催：信州大学理学部同窓会
信州大学自然科学館

信州サイエンスフェスタ2025

開催日時：8月2日(土) 10:00~16:00

会場：信州大学理学部(松本キャンパス)

※水分補給を除いて屋内では飲食禁止です。

ホームページ：<https://sites.google.com/view/shizen2025>



参加人数等の制限を設けずに開催する予定です(予約不要)。

開催内容は変更の可能性があります。最新の情報はホームページをご参照ください。

特別企画

特別講演

「サルから探るヒトの心と行動の進化」

講演者：山口飛翔 先生

(信州大学 理学部 生物学コース)

時間：13:00~14:00



私たち人間(ヒト)はとても変わった生き物です。地球上で唯一、文字や言葉を使い、複雑な文明を発達させてきました。パソコンやスマートフォンを使い、ビルを建て、宇宙に行くこともできます。では、私たちはどのようにして、こうした「ヒトらしさ」を持つようになったのでしょうか。

その手がかりを教えてくれるのがサルたちです。サルはヒトと同じ「霊長類」に分類され、進化の歴史の中では、比較的最近に同じ祖先から分かれた「遠い親せき」のような関係です。多くのサルはヒトと同じように手先が器用で、集団をつくって多くの仲間と協力しながら生活しています。こうしたサルとヒトの行動や社会の似ている点・違う点を調べることで、私たちの「ヒトらしさ」がどのような進化的ルーツを持つのかをたどることができるのです。

本講演では、サルの行動を調べることで、これまでにヒトの行動や心の進化についてどのようなことが分かってきたのかをご紹介します。また、私自身が宮城県金華山島という(ほぼ)無人島で行ってきた野生ニホンザルの調査についてもご紹介し、サルを観察することの楽しさや、自然の中でフィールドワークを行うことの魅力も伝えられればと思っています。

自然科学館ツアー(1時間程度)

時間：第1回: 10:30~受付, 11:00~開始

第2回: 13:30~受付, 14:00~開始

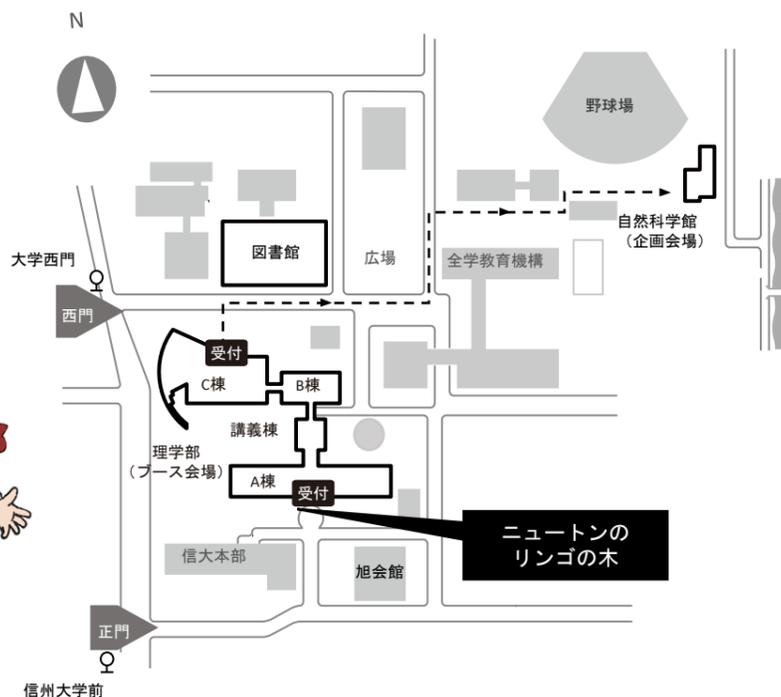
各回先着順20名まで。

理学部C棟 受付でお申し込みください。

信州大学松本キャンパス

JR松本駅お城口(東口)23番のりば

「信大横田循環線」または「浅間線」にて15分
バス停「信州大学前」または「大学西門」で下車。



夏休みの自由研究相談

信州大学理学部の研究者が、皆さんの夏休みの自由研究のお悩み相談に応じます。

時間：13:00~15:00

持ち物：筆記用具

参考にしている本や資料など



*** ブース展示 ***

- アラスカの自然と野生動物
- 多面体の模型作り
- 電気でおもしろ実験
- 光のひみつ・虹のめがね
- 電子の目でみるミクロの世界
- シャボン玉のフシギ
- 石の中身を見てみよう
- 数理マジックと数理ゲームの世界へようこそ(和算の魅力)

など...

ニュートンのリンゴの木

今から350年ほど前、ペストという病気がはやってしまい、ケンブリッジ大学も2年間閉鎖されてしまいました。当時学生だったニュートンもふるさとへ帰らないといけませんでした。しかし、ふるさとでニュートンは研究を続け、その2年間に、微分積分法・万有引力の法則・運動の法則の3大発見をはじめ、プリズムの光の屈折の法則など、歴史に残る発見をしました。万有引力の法則は、ニュートンが庭にあったリンゴの木から実が落ちるのを見て思いついたというお話が伝わっています。そのリンゴの木は接ぎ木されて現代でも生き残っており、そのうちの一本が信州大学理学部の玄関前に植えられています。今年も満開の花を咲かせました。